

鹿屋市立鶴峰小学校 特別の教育課程の実施状況等について

1 特別の教育課程の概要

本校では、令和 3 年度～令和 4 年度、市内全小学校が文部科学省教育課程特例校の指定を受け、下述の 時数を確保し、現行の学習指導要領（外国語活動・外国語科）を踏まえて、「英語科」として先進的な英語教育の実践研究を推進しています。

英語大好きな子どもたちをイメージし、小学 1 年生から児童の興味・関心や理解度に合わせた英語を使って段階的に指導し、小学校 6 年間を通して、総合的にコミュニケーション能力の基礎を育成し、小・中一貫による英語教育の推進を図ることを目指しています。

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年 (教科)	6 年 (教科)	総時数
年間時数	20	20	35	35	70	70	250
使用する教材等	オリジナル	オリジナル	Let's Try!1	Let's Try!2	教科書 My Book Picture Dictionary	教科書 My Book Picture Dictionary	

2 鹿屋市の英語教育の目指す生徒像

「地球規模で様々な問題を考え、郷土の魅力を生かして、英語を使って、能動的に課題解決に向けた行動を起こす児童生徒の育成」子どもたちが英語の学習に主体的に取り組み、コミュニケーション能力を育成した結果、郷土の課題解決に貢献したり、グローバルな視点を持ち、郷土の魅力を世界に発信し、持続可能な社会の発展に貢献したりする人材の育成を目指します。子どもたち・先生方・学校・保護者・地域が一体となって、「わくわく」するような授業を一緒に作り、多文化共生社会を生き抜く「グローバル人材」の育成を目指します。

3 本校の教育目標

豊かな心で、自ら学び・考え、心身ともにたくましい鶴峰の子どもの育成

4 本校の令和 3 年度英語教育の実践について

- (1) 1・2 年生の取組
 - ・ ALT や JTE と連携したチームティーチングによる授業
- (2) 3・4 年生の取組
 - ・ 教材「Let's Try!」を活用した学習
 - ・ ALT や JTE と連携したチームティーチングによる授業
- (3) 5・6 年生の取組
 - ・ 教材「My Book」を活用した学習
 - ・ ALT や JTE と連携したチームティーチングによる授業
- (4) 鹿屋市各地区英語教育圏推進会議について（小中一貫教育）
 - ・ 中学校英語教諭による交流授業の実施
- (5) 校内研修体制について
 - ・ 長期休業中における英語の学習指導に関する研修の実施
 - ・ 英語科授業の公開や外部研修会への参加による指導力の向上

5 特別の教育課程の実施状況に関する検証結果

(1) 自己評価（児童）の結果から

英語の授業は楽しいですか。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
楽しい	100%	0%	100%	25%	0%	28%
どちらかというと楽しい	0%	100%	0%	65%	100%	28%
あまり楽しくない	0%	0%	0%	0%	%	14%
楽しくない	0%	0%	0%	0%	%	28%

(2) 自己評価（教員）の結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
63%	37%	0%	0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・ コミュニケーション能力を育成すること。
- ・ ALTとのふれあいを通して，外国語や異文化を理解すること。
- ・ 英語の楽しさを実感し，積極的に活用しようとする態度を育成すること。

(3) 保護者評価結果から

Q1 お子さんは，英語の授業が好きですか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
19%	44%	37%	0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・ 英語を学ぶことを通して，様々な人種や文化に触れること。
- ・ 英語を楽しみ，英語に対する抵抗感をなくすこと。
- ・ コミュニケーション能力を育成すること。
- ・ 英語に興味をもち，少しずつ覚えていくこと。

(4) 学校関係者評価結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
83%	17%	0%	0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・ これからの国際社会で生きていくために，早い段階から英語に慣れること。
- ・ コミュニケーション能力を育成すること。
- ・ 英語に対する苦手意識をなくすこと。

6 令和4年度の実施について

(1) 1・2年生の実施

- ・ ALTやJTEと連携したチームティーチングによる授業

- (2) 3・4年生の取組
 - ・ 教材「Let's Try!」を活用した学習
 - ・ ALTやJTEと連携したチームティーチングによる授業
- (3) 5・6年生の取組
 - ・ 教材「My Book」を活用した学習
 - ・ ALTやJTEと連携したチームティーチングによる授業
- (4) 鹿屋市英語教育圏推進会議と鹿屋市各地区英語教育圏推進会議（小中一貫教育）について
 - ・ 中学校英語教諭による交流授業と情報交換会の実施
- (5) 鹿屋市小中学校英語弁論大会（小学校：スキット部門）について
 - ・ JTEと連携した計画的な発表練習
- (6) グローカル・イングリッシュキャンプについて
 - ・ 児童への周知
- (7) スピーキングクエストの実施について
 - ・ 実施方法の確認と計画的な実施
- (8) 校内研修体制（イングリッシュガイドブック・学習指導案等の活用）について
 - ・ 教職員の指導力向上を目指した英語科学習指導に関する職員研修の実施
 - ・ 英語科授業の公開や外部研修会への参加による指導力の向上
 - ・ ALTやJTEと連携したチームティーチングによるよりよい授業づくり